

# 2014年五地域ねじ協会交流大会

台中日韓、いずれも輸出に伸び、香港は輸出量減も額はプラス成長 記事 / 施淳真、ファスナー世界雑誌社

地域別のファスナー貿易の結果を見ると、台湾、日本、韓国、中国、いずれも輸出の量、額を伸ばし、香港は輸出量は落ちたが額はプラス成長で、ねじ産業の高付加価値化が進んでいることを示した。

台湾、中国、香港、日本、韓国の五地域ねじ協会交流大会は2003年に台湾で第一回が開かれたのを皮切りに、毎年一回、会場は各地域持ち回りで開催されている。台湾に回ってきた2014年の第12回大会は、4月13日に台湾の高雄で開かれ、各地域の協会理事長、幹事、企業代表約250人が出席し、年に一度の業界イベントは大いに盛り上がった。

ホスト役となる台湾区ねじ工業同業公会の陳明昭理事長は、今回のテーマを「地域ごとねじ産業概況報告会」とし、台湾、中国、香港、日本、韓国がそれぞれに自国のねじ産業の概況を報告し、さらに陳明昭理事長のほうから「台湾ねじ産業の昨日、今日、明日」と題する演説が行われた。イベントには五地域の代表団に加えて恵達雑誌社も参加しており、弊社のほうで地域ごとのねじ産業概況報告の重点を以下のように整理してみた。



▲第12回五地域ねじ協会交流大会



Taiwan

## 台湾区ねじ工業同業公会 – 代表：陳明昭理事長、張土火国際委員長 「2013年輸出量は過去最高の146万トン、輸出先ベスト5で単価最高は日本の\$3.1/kg」

台湾におけるねじの輸出は世界経済の動向と関係している。陳明昭理事長によると、「五年間の調整期間を経て、2014年のグローバル経済は新たなサイクルに入り、欧米や日本といった先進国の経済はすでに金融危機による不景気の谷底を脱し、経済成長もしだいに力強さを増しており、これに新興市場の内需も上向き始めて、台湾のねじの輸出は安定成長に入るものと予測している。」

景気の回復をうけ、2013年台湾のねじ製品輸出は、重量で前年比5.8%増（146万トン）、額でも同1.7%増（38.6億ドル）だった。単価のほうは、原料である鋼鉄の国際価格が下落したのが響いて3.89%減の2.646ドル/kgであった。

重量で見た2013年輸出先の上位五カ国は、アメリカ58万トン（全体の39%）、ドイツ13万トン（同8.4%）、日本7.7万トン（同5.3%）、オランダ7.6万トン（同5.2%）、イギリス5.5万トン（同3.8%）となってお

り、この五カ国で単価が最も高かったのは日本で3.1ドル/kg、他の四カ国は2.45～2.69ドル/kgであった。

2013年の出口品目では、「その他のねじ、ボルト」が81万トン（全体の55.72%）、「ナット」26万トン（同18.10%）、「セルフタッピンねじ」15万トン（同10.54%）が台湾の三大ねじ輸出品目であった。

張土火によると、「台湾のねじは、輸出と輸入で単価の差が大きく、輸入品は付加価値の高い自動車用、建築用で、平均単価は6ドル以上に達するが、輸出品は汎用製品中心である。しかし、ここ数年は自動車用ファスナーの輸出が増えてきており、これが輸出全体の単価押し上げに大きく貢献している。」

2013年、台湾のねじ輸出は、欧米や日本への輸出の増加により成長を回復した。欧州のソブリン危機がどうやら解決の方向に向かっており、EUは台湾にとって主要輸出先であることから、2014年はEUへの輸出拡大のチャンスが大きくなると見込まれている。アメリカ市場のほうは、失業率がこのまま下がり続け、PMI（製造業購買担当者景気指数）が上がり、自動車や機械のメーカーの景気が上向けば、台湾製ねじの輸出も持続成長が望める。

表1 台湾の2005-2013年ねじ製品輸出統計

年	重量 (kg)		輸出額 (米ドル)		平均単価 (米ドル/kg)	
	重量	前年比	額	前年比	平均単価	前年比
2005	1,265,569,015	-10.33%	2,499,154,951	4.78%	1.975	16.85%
2006	1,269,647,531	0.32%	2,571,148,828	2.88%	2.025	2.55%
2007	1,231,081,767	-3.04%	2,900,413,415	12.81%	2.356	16.34%
2008	1,215,061,132	-1.30%	3,163,761,842	9.08%	2.604	10.52%
2009	895,144,189	-26.33%	2,070,049,250	-34.57%	2.313	-11.19%
2010	1,279,454,975	42.93%	3,214,618,211	55.29%	2.512	8.65%
2011	1,422,005,953	11.14%	3,973,545,681	23.61%	2.974	11.22%
2012	1,379,473,662	-2.99%	3,798,043,334	-4.42%	2.753	-1.47%
2013	1,459,394,488	5.79%	3,861,744,023	1.68%	2.646	-3.89%

資料出所：台湾区ねじ工業同業公会



China

## 中国機械通用部品工業協会ファスナー分会 – 代表： 王長明常務副会長、馮金堯会長

協会速報 123

「中国の全産業主要指数は年度予測の範囲に達し、ファスナー業界は緩やかな成長」

中国機械通用部品工業協会の王長明常務副会長は、会議でこう述べた。「中国経済は長期の高度成長期を経て、この二年くらいは調整期に入っている。部品製造業を含む機械産業は成長の伸びも緩やかだ。2013年、部品業界の売上げの伸びはわずかに6.6%であり、ファスナー業界に至っては約3%と、もっと低い。輸出の頭打ち、そして内需の冷え込み、労働コスト上昇、環境規制の強化などが原因である。ファスナー産業は今回の市場倒置機制（追い貸しメカニズム）を利用して、『中低価格帯から中高価格帯へ、スピード重視から品質重視へ、粗放管理から集約化へ』を実現し、且つこれに政府による産業政策のサポートが加われば、業界全体としては順調に発展できると信じている。」

2013年中国のファスナー生産量は680万トン、前年比3.03%増、ファスナー業界全体の売上げは675億人民元（約108億ドル）、同3.85%増だった。そのうちファスナー輸出量は255.8万トン（鋼製品）に達し、同3.81%増、輸出額も46.04億ドルに達し、同2.04%増だった。輸入量は27.3万トン（鋼製品）、同8.55%増、輸出額は29.99億ドル、同4.49%増だった。

ファスナー分会の馮金堯会長は、「中国は今、構造調整の陣痛期に当たり、2014年の経済情勢は依然として複雑で、有利な条件と不利な要素が併存しているが、中国国内の工業化、都市化といった重要政策が、ファスナー産業に一定の需要をもたらすと思われることから、企業も自主的な発展の道が開けるものと期待している」、と述べた。

経済の調整は、自動車、新エネルギー、高速鉄道、航空機、環境保護、インフラ建設、都市交通、ITといった業界がリーダーとなり、高強度、高精度、高付加価値といった方向に発展させるには、製造技術の向上に加えて、経営理念の転換が求められる。具体的には、「省エネ、環境保護の分野における新技術を研究し、業界のエネルギー消費基準を制定し、三つの廃棄物管理と再利用、スマートグリッド、電子商取引やネット利用の新型マーケティングを強化する方向に向けて努力しなければならない」、と馮金堯会長。2014年の生産量は700万トン、そのうち輸出は250万トンに達すると予測している。

表2 中国2011-2013年ファスナー輸出入統計

年	輸出			輸入		
	重量 (kg)	額 (米ドル)	平均単価 (米ドル/kg)	重量 (kg)	額 (米ドル)	平均単価 (米ドル/kg)
2011	2,589,231,409	4,663,911,600	1.801	264,040,084	2,938,465,900	11.129
2012	2,463,977,813	4,512,208,300	1.831	251,525,543	2,872,707,000	11.421
2013	2,558,554,039	4,604,220,000	1.800	273,194,951	2,999,156,900	10.978

資料整理：中国ファスナー分会



Hong Kong

## 香港ねじ業協会 – 代表：林志明主席、張建茗常務副主席

「輸出量減＋輸出額増＝高付加価値化を実現」

2013年、香港の輸出量は前年比7%減の26,620トンで、三年連続の減少となったが、輸出額のほうは四年連続の上昇となり、2013年の輸出額は同14%増の4億3,000万ドルとなった。このデータによると、香港ねじ産業は高付加価値化に向けて前進を続けている。

張建茗常務副主席によると、「香港とって中国が依然として最大の輸出市場であり、輸出量の46%、輸出額の71%を占めているが、シェアは過去に較べてやや落ちており、これは生産営業コストの大幅上昇により製品の価格が上昇したことによる。」

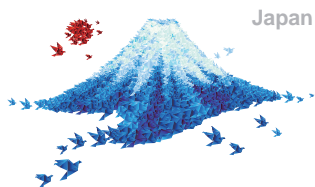
輸入については、2013年香港のねじ類輸入量は45,299トンで前年比5%減、輸入額は3億4,000万ドルで同6%増。輸出と同様に、量が減って、額が増えている。中国が依然として最大の輸入元であり、輸入量全体の77%、輸入額全体の45%を占めている。

協会の分析によると、輸出入の量が減ったのは世界的な経済低迷に影響されてのことであり、特に欧米市場の低迷が著しい。同時に、香港ドルに対する人民元とユーロの上昇が、輸出入の額をかさ上げし、これに人件費、賃料など、コスト上昇圧力が、香港ねじ業界全体の競争力を削いでいる。これに対して林志明主席は、「香港ねじ産業は生産技術と品質管理の優位性をもって、産業のファスナー需要に密着して販路を拡大する必要がある」と述べた。

表3 香港2009-2013年香港ねじ製品輸出入統計

年	輸出				輸入			
	重量 (kg)	前年比	額 (米ドル)	前年比	重量 (kg)	前年比	額 (米ドル)	前年比
2009	30,057,860	7%	283,043,800	-10%	60,382,057	20%	275,610	-19%
2010	32,849,690	9%	370,494,100	31%	44,189,532	-27%	332,099	20%
2011	30,735,000	-6%	373,845,900	1%	45,481,950	3%	324,603	-2%
2012	28,720,230	-6%	386,042,700	3%	47,583,910	4%	324,339	-0.08%
2013	26,620,000	-7%	439,080,100	14%	45,299,699	-5%	344,056	6%

資料出所：香港ねじ業協会



## 日本ねじ工業協会 – 竹中弘忠会長、大川克良国際委員長

「アベノミクス、円安、消費増税による設備投資の手控え、生産基地の外国への移動が日本ねじ産業に影響」

2013年日本のねじ産業の状況は、日本ねじ工業協会の統計によると、ねじ生産量は287.5万トンで前年比3%減、生産額は8,371億1,700万円（約85億2,374万ドル）で同増減なしであった。つまり、生産量は減ったが額は変わらなかったことになる。

生産基地の外国移動により、最近の日本国内のねじ生産量はあまり伸びておらず、低迷しているが、反対に輸入は伸びている。2013年のねじ輸入量は前年比12%増の25.4万トンに達し、輸入額は同28.1%増で837億円（約8億5,225万ドル）に達した。2013年の統計によると、ボルト、ナットなどのファスナー製品は主に、中国（148,547トン、輸入全体の58.6%）、台湾（74,233トン、同29.3%）、韓国（10,353トン、同4.1%）から輸入している。

円安とはいえ、輸出の伸びはかつてほどでもないが、価格競争力は一応上昇している。2013年ねじ類の輸出量は33.1万トンで全年比2.5%増、輸出額は2,752億円（約28億303万ドル）で11%増だった。

大川克良国際委員長は、日本ねじ産業は2013年から多くの経済政策の影響を受けていると感じている。日本経済は再生に向けて大事な時期にさしかかっており、2014年3月末現在では、産業全体から見たらまだ低水準にある。竹中会長によると、「日本のねじ業界は、自動車など景気が回復している産業と取引のあるメーカーは受注が増えているが、業績が芳しくない業界を顧客としているメーカーは依然として厳しい状況にある。」

表4 日本2011-2013年ねじ生産実績統計

年	重量 (トン)	前年比	額 (百万円)	前年比	レート (米ドル/円、9月30日現在)	
					額 (千米ドル)	前年比
2011	2,767,136	-3.5%	789,255	-2.4%	10,244,743	5.7%
2012	2,962,263	7.1%	837,249	6.1%	10,747,741	4.9%
2013	2,877,490	-2.9%	837,117	0%	8,523,745	-20.7%

資料出所：一般社団法人日本ねじ工業協会

表5 日本2011-2013年ねじ輸出入統計

年	輸出				輸入			
	重量 (トン)	前年比	額 (百万円)	前年比	重量 (トン)	前年比	額 (百万円)	前年比
2011	304,993	-1.8%	231,915	-1.6%	217,921	10.8%	63,982	11.8%
2012	322,307	5.7%	247,905	6.9%	226,401	3.9%	65,348	2.1%
2013	330,506	2.5%	275,286	11.0%	253,649	12.0%	83,700	28.1%

資料出所：日本財務省

## 韓国FASTENER工業協同組合 – 代表：魚鎮善理事長、李廷祐理事

「韓国のファスナーは同国自動車産業と密接に連関し、生産量の77.4%が自動車用」

2013年、韓国のファスナー輸入額は5.2億ドルで16.7%増、輸出額は6.7億ドルで11.3%増だった。韓国ではファスナー製品の需要元となっている産業は、自動車関連が75万トンあまり（全体の77.4%）、建築関連13万トンあまり（同13.5%）、電子関連2万トンあまり、その他が7万トンあまりとなっている。

2013年の業界を振り返って李廷祐理事は、「国内におけるファスナー生産量は97万トン、売上げは39億ドルに達した。産量は全年に較べて小幅減だったが、これは国内自動車メーカーの生産量が減ったためである。2013年自動車生産量は585万台で前年比2.4%減だったが、幸いにも建築市場からの需要が同3.6%伸びて899億ドルに達し、韓国ファスナー産業全体の不振を穴埋めしてくれた格好となった。」

魚鎮善理事長によると、「長らく不景気が続いたが、2013年末に世界の景気が回復基調に転じているのは幸いであり、回復の速度は遅く、まだ今年の経済に直接の効果はもたらしていないが、グローバル経済がファスナー産業を牽引してくれるプラスの効果を期待している。」



表6 韓国2011-2013年ファスナー輸出統計

輸出先	2011		2012		2013	
	重量 (トン)	額 (千米ドル)	重量 (トン)	額 (千米ドル)	重量 (トン)	額 (千米ドル)
米国	34,719	109,624	37,974	137,822	43,594	156,759
中国	18,758	81,573	21,233	101,350	25,202	127,485
日本	12,507	50,351	12,442	49,861	13,912	48,430
チェコ	4,135	14,299	6,171	25,410	5,412	25,497
インド	3,592	15,214	4,314	20,034	5,799	25,266
合計	121,576	484,737	140,570	606,526	156,914	674,807

資料出所：韓国鋼鉄協会DB 備考：順序は2013年の輸出額による

表7 韓国2011-2013年ファスナー輸入統計

輸入元	2011		2012		2013	
	重量 (トン)	額 (千米ドル)	重量 (トン)	額 (千米ドル)	重量 (トン)	額 (千米ドル)
中国	90,090	158,275	97,532	164,660	107,461	180,185
米国	3,206	104,524	3,446	101,542	4,119	126,324
ドイツ	2,544	32,543	2,671	35,683	2,615	49,366
台湾	8,321	28,915	6,758	27,651	7,087	24,685
日本	1,875	37,694	2,999	32,378	1,143	21,033
合計	113,540	436,702	121,792	446,478	131,834	520,998

資料出所：韓国鋼鉄協会DB 備考：順序は2013年の輸入額による

[www.fastener-world.com.tw](http://www.fastener-world.com.tw)



**Upload your purchase request to sellers.  
You submit, they supply.**